

天文部部活動紹介

天文部 顧問：相馬勝弘（1－4担任）

1年生のみなさん、この先の見えない新型コロナウイルスの影響で、まだこれからの学園生活に不安を抱えてお過ごしのことでしょう。

だからこそ学園生活が始まった際には、ぜひ最高に楽しい3年間にしていきたいですよね。そのためには部活動選びは重要になってくると思います。そこで、天文部の1つのキーワードと4つの特徴を知って頂いて、今年度もユニークな新入生を募集したいと思います。ぜひ気になる生徒は気軽に顧問のところや天文台に遊びに来てくださいね！

天文部キーワード：「平学 No.1 自由と責任のある部活」

このことを象徴する4つの特徴

① 活動日を生徒が**自由**に決めることができる。

今年は部員の話し合いで週に2回、火曜日、水曜日となっていますが、これは毎年生徒が話し合いで決定します。ですから曜日の変更から活動日数まで全て生徒が決めることができます。

② 活動時間が**自由**

一応、帰りのHRが終わってから、生徒最終下校時刻までとなりますが、活動内容によって時間は変化します。ただ、ダラダラと活動しても意味はありません。内容が終われば早く下校ができます。また、途中からの参加も自由で、特に特進、進学の補習が終わってからの参加も多く、先輩も部員の半数が特進進学なので、気楽に途中参加ができます。

③ 活動内容は全て生徒が**自由**に提案して決める。

自分たちがどういう活動をしたいのか、どんなイベントを計画したいのか、天文部としてふさわしいものであれば、一から企画してみんなで協力して準備していきます。そのため、先輩後輩関係なく、和気あいあいと活動を行っています。時には卒業生も加わり、色々教えてもらいながら楽しんだりしている部活です。

ちなみに過去のイベントの例をいくつか紹介してみます。(次ページ)

- ・生徒が自分たちで調べて観測地、目的地を決定して行う夏合宿（毎年）
- ・全員が天体望遠鏡を自分で設営し、観測できるようにする
- ・みんなでプラネタリウム見学を計画する
- ・学校の掲示板に貼るポスター作り、ここで今月の星座や天体ショーの紹介
- ・文化祭での展示部門への出展
- ・初心者のための天文学の基礎知識の勉強
- ・天体ショーの観測、写真や動画の撮影

金環日食、金星の日面通過、太陽の表面の観測、月のクレーターの観測、流れ星の観測、皆既月食、惑星や星座、星雲、星団の観測…etc

④ いつでも自由に入部退部が可能

天文部は入部期限を設けていないので1年生の秋や冬から、2年生の途中から、更には3年生の運動部引退後からという生徒もいます。ですから毎年部活に入ろうと思っていたが入りそびれた生徒や、他の部活を途中退部したがやっぱりどこかの部活に入りたいと思った生徒が入部してきます。逆に退部も簡単で、顧問と部長さんに辞めたい意思を自分で伝えに行けばOK。

「来る者は拒まず去る者は追わず」

あと1つ天文部として自慢できる場所はヒラガク No.1 の環境の良い活動場所にあります。360度見渡すことのできる天文台は富士山や湘南平、一面の海には江の島から大島まで絶景広がる空間で活動ができます。そして6台ある特徴の違う天体望遠鏡があります。その中でも平成20年にリニューアルされた、ドーム式天文台にある口径15cmの屈折式天体望遠鏡はコンピュータ制御により、どんな天体であっても位置を割り出し、その動きに合わせて自動で追尾するシステムが導入されています。

ちなみに現在の部員数は

3年男子：9名 3年女子：5名 計14名（うち補習あり：6名）

2年男子：6名 3年女子：8名 計14名（うち補習あり：9名）

とにかくこの先輩方はみんなで仲良く楽しむ天文部の伝統を引き継いでいます。そして自由と責任においてけじめのある部活動運営を行ってくれています。ぜひ優しい先輩方と楽しく充実した学園生活を送りませんか！顧問はこの活動を全面的に応援しています。